

古代アート

人類の芸術活動の起源は、旧石器時代、クロマニヨン人（新人）によって描かれた洞窟絵画にあると考えられており、フランスのラスコー洞窟やスペインのアルタミラ洞窟が有名です。そこには、ウマ、バイソン、マンモス、ウシ（オーロックス）、シカなどの野生動物が生き生きと描かれており、狩猟技術の向上を示すとともに何らかの儀礼的、社会的な意味合いがあったものと考えられています。

切手には、各地域の歴史を示すものとして、壁画をはじめ、考古遺物や彫刻などの図案が採用されています。そこには狩猟対象から家畜となり、古くから人々と関わりを持ってきたウシの姿を見ることができます。